

ポラテック

プレカット選別受注に

今後の受注増へ配慮

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）のプレカット事業は5月度も受注好調で各営業所で選別受注を開始した。「今までのペースで受注するとパンクするので、5月度は147棟を調整した」と北大路康信専務は話す。6月から唐津工場の稼働を控え、実加工ペースでも月間12万坪が視野に入ってくる。

同社プレカット事業 注2792棟、外販売 構造材加工実績は9万の5月度実績は外販受 り上げ20939棟で、 8990坪（前年同月

比7・2%増）、羽柄材5万7190坪（同6・8%増）、合板加工4万7471坪（同2・8%増）と好調。ただ、構造材加工は前月比19・0%減と、大型連休が入ったこともあり減少した。

全体的に受注が好調で、次の消費税率引き上げに向けて当面は受注が増加傾向にあるものと判断し、利益率重視の受注選別を行うよう各営業所枠を設けて対応を始めている。非住宅は8618坪で比率は9・2%まで向上した。

かねてから建設を進めてきた唐津工場が6月から稼働を始めることで、5工場体制となり、構造材加工能力は16万6000坪まで拡大する。これまで構造材加工実績11万4612坪が最高実績だったが、唐津工場の稼働で実加工で12万坪台も視野に入ってきた。